

世界「旅すべき場所」に今度は福井県 米紙「最もスピリチュアル」

国際 | 暮らし・学び・医療 | 速報 | 福井 | 北米 | 北信越

毎日新聞 | 2024/2/2 14:06 (最終更新 2/2 14:17)

有料記事 355文字



壮麗な建築物が並ぶ境内 = 福井県永平寺町の永平寺
で2019年5月15日11時9分、大森治幸撮影

米紙ワシントン・ポストは、世界各地から「人混みを避けて、2024年に旅すべき場所」として12カ所を選んだ特集の中で、福井県を紹介した。米紙ニューヨーク・タイムズが山口市を推奨したのに続き、日本の地方への関心の高まりをうかがわせた。

ワシントン・ポストは「日本の最もスピリチュアルな地域の一つを見るため、福井に行こう。3月に（北陸）新幹線の新路線（金沢―敦賀延伸）が開業予定で、東京から約3時間で行けるようになる」と紹介。東

京拠点の旅行業者のおすすめとして、曹洞宗の大本山・永平寺を挙げた。

特集記事は、パリやローマ、東京は観光客で混雑すると指摘。「プレッシャーから解放され、息をつける場所」として、ローマ近郊のブラッチャーノ、アルバニア南部デルミ、コロンビア南西部ポパヤンなども挙げた。【ワシントン秋山信一】

Recommended by